

# 「エコライフDAY 2006」報告会・発表会

## 環境フォーラム「私のエコライフ」報告書

朝日環境センター・リサイクルプラザ3・4階において、「エコライフDAY」に参加して考えたこと、やってみたこと、続けていることなど、自分のエコライフを発表しました。また、環境にやさしい活動を実践している方々と交流しました。

参加者総数	延べ104人
発表者	小学生35人 中学生4人 高校生4人 大学生1人
見学者	延べ63人



川口市長と...



全体風景

見たい！聞きたい！  
話したい人！



この指と～まれ！

ワークショップ



環境戦隊エコレンジャー



後援：川口市 川口市教育委員会

協力団体：荒川夢クラブ、綾瀬川を愛する会、かわぐち環境通貨プロジェクト、川口グラウンドワーク、劇団ちよっぴ  
尚美学園大学学生・FROM C、前澤工業(株)

協賛：(有)アース電創、(有)いいづか、イオン(株)ジャスコ川口店、池田鉄工(株)、(株)エノマス、老川工業(株)  
(株)奥富電気工事、オリジン自動車、(有)カイト、(有)かねます運輸、川口珠算協会  
(社)川口青年会議所環境運動推進委員会有志、(株)国商、(株)栗田商店、(株)広栄、(株)庚伸、虎穴庵、埼玉建興(株)  
彩ネット(株)、(株)佐久間工務店、伸明建設(株)、鈴木建設(株)、双栄自動車整備(有)、(有)総合保険企画  
(株)デイジイ、(株)トウエイ、徳竹塗装(株)、DOLCE、内藤保険サービス(株)、西田整骨院、(株)日環サービス  
(有)貫井電気工事、(有)博良、(株)八廣園、(有)ビットワーク、(株)秀信、(株)平川インテリア、富士貴塗装(株)  
(有)ふとんの北野屋、(株)モリチュウ、(株)リカベル (50音順)

発行：NPO法人 川口市民環境会議 080-1209-1280 (担当：牧野)

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife> ブログ <http://blog.canpan.info/ecolife>

\*この事業は、(財)サイサン環境保全基金助成事業の支援を受けて実施いたしました。\*



**< プ ロ グ ラ ム >**      [以下全文敬称略]

9:30 開会 4階研修室

開会あいさつ:代表理事 浅羽 理恵  
 エコライフDAYの報告:実行委員長 貴田 順子

9:45 あいさつ:川口市長 岡村幸四郎

本の贈呈(エコライフDAY参加率上位校)

小学校:1.上青木南小学校 2.戸塚南小学校 3.青木中央小学校  
 中学校:1.青木中学校 2.仲町中学校 3.岸川中学校・西中学校

あいさつ:環境フォーラム実行委員長 牧野真知子

10:00 第1部 「私のエコライフ」発表

- |                |        |  |
|----------------|--------|--|
| 1.市立川口高等学校     | 2年3名   | 「ボランティアをして感じたこと」                         |
| 2.戸塚南小学校       | 6年7名   | 「エコ活動の取り組み」                              |
| 3.慈林小学校        | 5年1名   | 「家から出るごみの量調べ」                            |
| 4.青木中学校        | 2年1名   | 「食べ物」                                    |
| 5.飯塚小学校        | 5年2名   | 「マイバックを持って買い物に」「キッズ ISO の基礎から初級編へ」       |
| 6.芝西小学校        | 4年8名   | 「かんきょう系の活動について」                          |
| 7.大東文化大学第一高等学校 | 1年1名   | 「環境フォーラムに参加して」                           |
| 8.岸川中学校        | 2年2名   | 「授業から学んだこと」                              |
| 9.仲町中学校        | 2年1名   | 「限りある資源について考えたこと」                        |
| 10.本町小学校       | 5年1名   | 「ぼくにもできるエコライフ」                           |
| 11.朝日東小学校      | 5・6年7名 | 「みんなで牛乳パックリサイクル」                         |
| 12.差間小学校       | 6年2名   | 「環境かるた」「廃物利用の置物」                         |
| 13.上青木南小学校     | 5・6年4名 | 「牛乳パックと古紙回収」                             |
| 14.芝浦工業大学      | 4年1名   | 「アルミタブとアルミ缶を回収して車椅子に」<br>「エコライフDAYに参加して」 |

12:10 昼食

アトラクション:環境ミュージカル「環境戦隊 エコレンジャー」 劇団ちよっぷ

13:00 第2部 みんなで考えよう! 「ごみを減らすには?」(ワークショップ)

14:20 第3部 体験の広場 もの作り体験について 参照

15:30 第4部 交流会としゃべり場

16:00 解散

第3部 体験の広場 もの作り体験について

団体名	リーダー	場所	内容
い) 川口市民環境会議	古澤房子	4階図書コーナー	環境かるたをつくってゲームをしよう
ろ) 綾瀬川を愛する会	幾島淑美	4階研修室 1	アクリルたわしを編んでみよう
は) 川口市民環境会議	南雲芳広	4階研修室 2	電気を作ろう
に) 前澤工業(株)	田中裕樹	4階研修室 3	グリット・コアって何だろう?
ほ) グラウンドワーク川口	西川昭三	3階木工室	自然もの作り(ブローチ・ペンダントなど)

**代表理事 浅羽理恵より ごあいさつ**

川口市内で、皆さんの“エコ活動”が広がり根付いているのを感じます。これからも私達と一緒に、“素敵なまち”にしていきたいと思います。今年も第3回環境フォーラムを、多くの方々のご協力により実現する事ができました。

実施にあたりご支援・ご協力いただきました皆様に、この場をお借りいたしました。心より御礼申し上げます。



## 岡村幸四郎市長より ごあいさつ

エコライフDAYは2000年から始まり7回目になります。

市役所の業務については、今までやってきたことをそのままやるという前例踏襲に陥りがちな面もあり、今やっている仕事の処理が、本当にベストなのか、他に良いやり方がないかを、常に考えながら執行するようになっています。

しかし、職員だけの発想にも限界があります。街というのは、子ども、大人、男女、いろんな人が構成していますから、みんなでこの街を良くしようという思いを持ってもらいたいし、生活していく中で、いろんな疑問点や問題意識が出てくると思います。

そこで、ミレニアムの時、市民がいろんな提案をして、お互いに審査し、良いものを取り上げ、行動に移して、応援して行こうという試みをしました。その提案の一つが地球温暖化に対するこの活動でした。市民の提案から生まれてきた事業が、賞をいただいたり、埼玉県や各市町村をはじめ、全国に広がっていることを大変うれしく思います。また、今年この会が、NPO法人として社会に認められたことは喜ばしいことです。しかし、責任も重くなってくると思います。

目に見えない空気、生活に欠かせない水など汚れてしまったら生きていけません。緑の植物がCO<sub>2</sub>を吸収して空気を作ってくれますから、こうした自然、緑を大事にしていかなければいけません。しかし、すぐにできるわけではありません。個人の力は小さいです。けれども、一人ひとりの力が集まって大きくなっていくことです。

エコライフDAYは、昨年より参加者が増えて、5万人を超え大きな力になってきています。また、家族ぐるみで取り組むことで、家族の交流ができ、環境に対する意識も深まると思います。

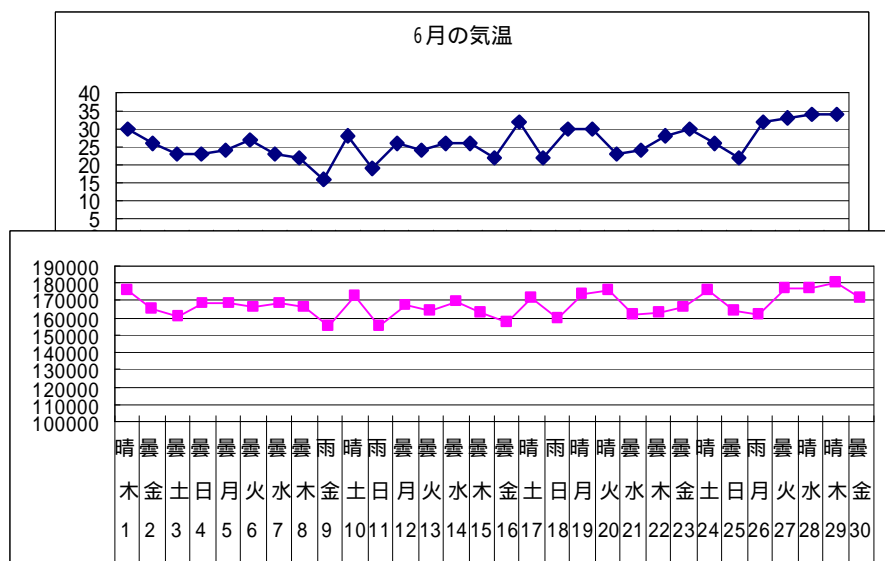
日本には昔から「もったいない」という良い言葉がありますが、ケニアのワンガリ・マータイさんが世界に紹介しましたね。もったいないということの意味は、「ものの命を大事にする」ということです。すぐに新しい物に換えてしまったり、電気をつけっぱなしにすることをなくし、物を大切に、エネルギーを無駄にしないなど、自分のできることをみんながやっていくことで大きな力になっていきます。このフォーラムでは、みんなで学んで、有意義な発表となるよう祈念しています。



## エコライフDAY 2006の報告

エコライフDAY実行委員長 貴田順子

今年もエコライフDAYにご参加ご協力いただきありがとうございました。川口市と共催になり、昨年より大幅に増え54,822人が参加し、川口市の人口約50万人の11%となりました。減らせたCO<sub>2</sub>の量は307,705gです。これはどれくらいの量でしょうか？ 木で考えると、221本の杉の木(直径22cm50年杉)が1年間に吸収する量。1m<sup>3</sup>の風船に入ると2,995個分になります。学校の児童・生徒の参加率は、昨年は平均34.8%でしたが50%に増え、その家族の数は生徒・児童の1.6倍の参加、エコライフDAYを通して家族の会話のきっかけや家族それぞれの生活を見直すことにもなっているようです。1年に1回ですが、ふだんの生活を見直すきっかけになり、続けることで身につけているようです。どんなエコライフの実践が発表されるのか期待しています。



ご参考までに川口市の水道のデータをみてみましょう。

6月の水道配水量と最高気温と比べてみると、折れ線グラフの形が良く似ています。最高気温が高くなると水道の使用量も高くなっています。

ふだん何気なく使っていると思いますが、このような傾向があるようです。植物と同じように、私たちの生活も気温に応じて水を必要としているのですね。

水道配水量  
(川口市 2006年6月)

エコライフDAY当日は雨でした。



## 環境フォーラム開催と効果について

環境フォーラム実行委員長 牧野真知子

環境フォーラムを開催してから今年で3回目になります。多くの方々のご協力があって継続できていることに感謝いたします。

目的は、エコライフDAYの取り組みを出前授業にも取り入れるようになって、子供達を中心に様々な人々を一同に会してエコライフの課題や提案報告の場を作ることです。2004年、「エコライフDAY5周年の報告・発表会」とするなら可能であることを、当時の環境総務課さんに提案していただき開催することができました。

1回目の発表者は、出前授業で出会った学校にお声をかけさせていただきました。

その発表の中に、「牛乳パックがトイレトペーパーになりませんか？」という提案がありました。この提案を実現するために、2005年4月開校の戸塚南小学校、業者さん、市役所、それぞれに話を持って行き、その結果、3校の小学校で、先生方のご協力により、牛乳パックと学校から出る古紙を業者さんが直接回収するしくみができました。最近では12校の小学校が参加し、学校で使うトイレトペーパーの1/2を牛乳パックと古紙のリサイクルで賄えるほどになりました。

2回目では、エコライフDAYのコメントの中に、3年間給食委員をしてきた中学生の興味深い感想があり、みなさんにお伝えしたくて発表してもらいました。そして、この発表が進路を決めるきっかけになりました。

今年は、多種多彩の報告が多くて驚きました。

毎年、大学生が卒業論文に、川口市民環境会議の取り組みを取り上げ、学校におけるエコライフDAYの成果と地域の関わり、チェックシートの分析結果の報告、ボランティアとして関わり、出前授業の体験報告など、自分の課題としてつなげていることも特徴です。そして、このような発表をみなさんが真剣に聞いてくださり、会場がとても静かなのが良いところです。



また発表だけではなく、先生方で構成している劇団の「環境ミュージカル」の上演、私たちがつくった「環境紙芝居」の上演、プロの講師さんを招いてみんなでごみ問題を考える「ワークショップ」、市民ボランティア団体による「ものづくり体験」、環境かるたづくりなど、環境を学ぶイベント等を行い参加者の興味を引いています。

参加者を募るために、学校にポスターを貼っていただいています。しかし、一度参加した学校のリピーターはありますが、自主的な新規参加がなかなかありません。初めて参加された学校の先生方からは、「それぞれ違った環境問題を自分の器で発表できるから、もっと早く知っていれば気楽に参加することができたのに」、という声もいただきました。

今年は市長さんも来て下さいました。来年はどうぞたくさんの児童・生徒の参加をお待ちしています。

今後、ますます内容の充実と参加者が満足されるような環境イベントとして、行政のご協力を得ながら、定着させていきたいと思えます。ご協力宜しく願いいたします。

最後になりましたが、この会を開催するに当たり御尽力をくださいました当会員でもあり、グラウンドワークを本拠に活動してこられました小澤泰様が、2005年12月に闘病後逝されました。御冥福と感謝を申し上げます。

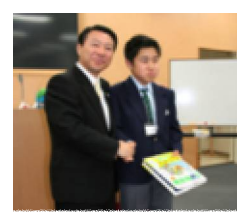
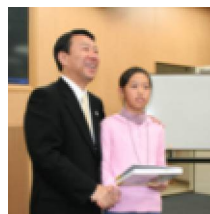
この3年間で合わせて400名余の方々のご参加、ご協力に感謝いたします。有難うございました。

### 本の贈呈 (エコライフDAY参加率上位校)

市長にプレゼンターをしていただき、会より参加者が多かった学校へ感謝の気持ちを込めて小学館21世紀子ども百科「地球環境館」を贈りました。

- 小学校： 1.上青木南小学校  
2.戸塚南小学校  
3.青木中央小学校

- 中学校： 1.青木中学校  
2.仲町中学校  
3.岸川中学校・西中学校



## 1.市立川口高等学校 2年3名 「ボランティアをして感じたこと」

桜井愛夏(田村琴美・阿部瑞穂)

これから、私がボランティアで考えたこと・感じたことの発表と、今日は来られませんが、同じ高校に通う田村琴美さんと阿部瑞穂さんのボランティアの感想を代読します。

まず、私の発表を聞いてください。

今年の夏休みに、ボランティアでエコライフDAYのチェックシートのコメント欄を仕分けしました。はじめの仕分けは、エコ商品についてのコメントの集計と、良いコメントを選びました。2回目は、今回のエコライフDAYのテーマ(課題)でもあった『マイバック』について、「持っていった・持っていかなかった・持って行く」という3つの項目に分けました。私は、小学生のコメントを仕分けしたのですが、感想や意見のほかに、イラストをつけてくれた人もいました。

・ゲームをせずに外で遊んだよ。 ・ご飯を残さず食べたよ。  
・家族で環境について話し合ったよ。などさまざまなコメントがありました。コメントを読み進める中で、嬉しい気持ちにさせられた感想がありました。それは、「マイバックを持っていったら、お店の人に『ありがとう』って言われて嬉しかったよ。」というものです。何人かの方が書いていました。

なぜ、これを読んで嬉しい気持ちになったかということ...私はホームセンターでアルバイトをしていて、「シールでいいですよ。」や「このバックに入れてください。」と言われると、必ずお礼を言うようにしているからです。そういうお客さんを見ると、地球に優しい人だなあと嬉しくなりますし、お客さんも良い気持ちになっていることを、今回初めて知りました。

また、袋をもらっても、ごみ捨てに活用したり、繰り返し買い物に使っている人が多いようです。ボランティアに携って、日頃から環境について心がけている人が多いことを実感しました。

少し恥ずかしいことですが、小学生のコメントに、高校生の私が活を入れられ、また勇気付けられたのは事実です。自分も気をつけようと強く思いました。

この発表の最後に、私が選ぶグランプリなコメントを聞いて下さい。

『マイバックを持って買い物に行くのは21世紀の当たり前!!  
ビニール袋なんてダサイダサイ!!これからは、マイバックを持つファッションを楽しもう。』小学生の男の子のコメントです。とっても前向きだと思いませんか?!以上私の発表です。

続いて田村さん・阿部さんの感想を代読します。

田村琴美さん・阿部瑞穂さんの感想

初めて、私たちが取り掛かったボランティアの仕事は「エコライフDAY」参加者の人数集計でした。この仕事は、言葉通り「エコライフDAY」に参加して下さった人たちのチェックシートを数えるもので、それほど難しい仕事ではなかったです。

夏休みに、朝日環境センターで集計大会が行われ、たくさんの小学生とボランティアの皆さんと一緒に、各学校から送られてきたチェックシートを、地域別に仕分けてから集計をしました。そして、分けられたものを、今度は「リサイクル」・「買物バック」・「水・食物」・「電気」・「省エネ」・「地球温暖化」などの分類に分けました。

集計する前に、出されたチェックシートの束を見て、驚きました。たくさんの方が、このエコライフに参加してくれたことを、改めて実感しました。特に、すごいと思ったのは、ほとんどの人が、各分類に合ったイラストを描いてくれたことで、中でも多かったのは、地球を大切にしようというテーマの絵です。地球を大切にするために、小さなことでもエコに協力してくれたことが嬉しかったです。

初めてボランティアに参加したので、戸惑うことや失敗することもあったけど、最後まで諦めず続けることができたので、いい経験をしたなあと思いました。これからもがんばろうと思います。



## 2.戸塚南小学校 6年7名 「エコ活動のとりくみ」 理科環境委員会と仲間たち/菊次先生

大西勇介、富田晶、富増岳、榎原奈歩、高橋直央、富澤幸彦、脇田沙代子

戸塚南小学校では、たくさんのエコ活動をしています。毎月の校内放送の一部を使いながら発表します。

### 紙のリサイクル

牛乳パックと古紙のリサイクルに、市内の学校と協力しながら行っています。クレパスでぬった紙、金紙、銀紙以外はどんな紙もリサイクルできます。習字の紙も、絵の具のついた紙も、きれはしもOKです。

牛乳パック1ヶ月分でダンボール1箱になり、交換に理科環境委員会で





トイレトペーパーを渡しています。4月から9月までの1学期で、市内10校が参加して13,290kgが燃やされずリサイクルされてトイレトペーパー約1,000個になりました。

4月～7月1学期 集計 10校 13,290kg						
	学乳パック	段ボール	雑誌	新聞	牛乳パック	合計
4月	540	1280	1480	90	30	3420
5月	690	1480	670	270	70	3180
6月	910	1400	670	130	180	3290
7月	870	1220	1000	170	140	3400
合計	3010	5380	3820	660	420	13290

トイレトペーパー約1000個	パック数	79
	個数	948

2,690kg							
戸塚南小							
	学乳パック	段ボール	雑誌	新聞	牛乳パック	合計	
4月	150	180	440	60	30	860	
5月	130	260	230	130	70	820	
6月	100	260	120	60	50	590	
7月	100	150	90	50	30	420	
合計	480	850	880	300	180	2690	

トイレトペーパー約200個	パック数	16.1	パック
	個数	193.0	個

戸塚南小だけでも2,690kgを回収しトイレトペーパーで約200個になりました。集められた牛乳パックは、写真のように1個の立方体にして静岡のリサイクル工場へ送られています。



### コンポスター

給食のデザートのは、コンポスターに集めています。

3・4ヶ月するといい土になります。

### エコチケット!

理科環境委員会で、エコチケットを発行しています。

いらなくなったビニールポットを買い取ったり、れんげそうやひまわりの種を売ったりしています。



### グリーンカーテン

今年の夏はトイレトペーパーの代わりにゴーヤの種をもらい、みんな育てました。6年の総合の時間に取り組みました。たくさん葉が茂り、教室の温度をさげてくれました。ゴーヤの実もたくさんなりました。

### みんなの林・池

校舎の南側に斜面林があります。この夏、全校でヤゴを育てました。7月には、市の緑地公社からカブトムシの飼育箱をもらい、カブトムシを育てました。卵から幼虫がかえり、とても大きく育っています。6年生が協力して土や腐葉土を入れました。全校に協力を呼びかけました。



### 総合6年

- ・1学期には川口市民環境会議の方々といっしょに地球温暖化について考えました。
- ・エコライフDAYの集計は6年生が総合でパソコンを使って全校の集計をしました。みなさんもやってみませんか?
- ・夏の自由研究でも、環境を考えるものがたくさんでした。



私は、マイバックについて調べました。東川口では、大きなスーパーが7つあります。そのうちポイントカードを使用してマイバックを推進しているお店は、6店もあります。ここまで普及して取り組んでいるのなら、共通のカードを作ったら便利かなと思いました。レジでの様子を見ていると、マイバックを持ってきている人はあまりいませんでした。お店の人に聞いてみたら、レジ袋を断る人は増えているということで安心しました。みなさんもマイバックを持って買いものに行きましょう。

- ・2学期10月、6年生は日光の修学旅行で、足尾の山の植林ボランティアに参加。

足尾の山にはあまり土がありません。スコップで掘るとごろごろと石が出てきます。みんな汗をかいて協力して植林しました。しっかり根づいて葉を茂らし、山を緑にしていってほしいです。植林した木の成長に負けないように、これからも取り組みを続けていこうと思います。ブログも見て下さい。

<http://blog.goo.ne.jp/gyuunyuupakku/e/>

### 菊次哲也先生より

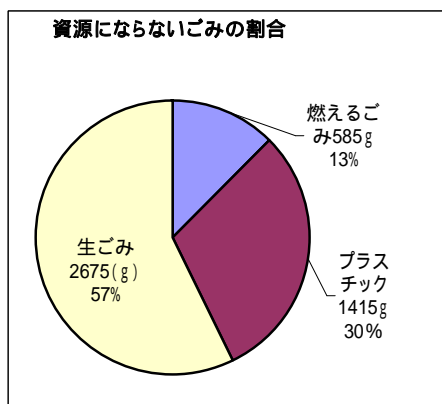
第3回環境フォーラム、ありがとうございました。1昨年、昨年のとりくみがきっかけとなり、活動が拡がり、今年の発表へとつながっていることを実感しました。牛乳パック・古紙リサイクルはもちろん、マイバッグの取り組みもそうでした。昨年、給食の残飯の問題を調べて発表した中学生は環境問題を学ぶことを志して高校進学をしたとのこと。このフォーラムを広場として様々な人達が出会い、交流しています。この波紋がもっともっと拡がっていくことを願ってやみません。ありがとうございました。

### 3. 慈林小学校 5年1名 「家から出るごみの量調べ」 内藤一輝 / 伊東先生

1. 動機・・・一週間に家から出るごみの量が知りたくて調査しました。
2. 内容・・・家の一週間に出るごみをゴミ箱からだしてみる。種類ごとに分別し、はかりで計る。
3. 結果

	ビン (本)	缶 (個)	危険 物 (個)	ペット ボト ル (個)	燃える ごみ (g)	プラス チック (g)	紙パ ック (枚)	新聞 (g)	生ご み (g)
7/29	1	1	1	0	85	310	0	265	815
7/30	0	0	0	1	80	60	1	205	320
7/31	0	2	0	2	185	305	1	260	305
8/1	0	0	5	1	55	115	0	250	450
8/2	0	0	0	3	20	190	1	240	230
8/3	0	2	0	0	70	135	1	205	405
8/4	0	0	0	1	90	300	0	265	150
合計	1	5	6	8	585	1415	4	1690	2675

表からわかったこと  
家での一週間に出る資源にならないごみの量は、なんと約5kgでした。僕の家族は5人なので、一人当たりのごみの量は、一週間で約1kg、年間で約55kgにもなってしまいます。もっとごみを減らせるようがんばりたいです。



#### 表から見てわかったこと

生ごみが全体の約半分を占めている事がわかりました。少しでも重さが減るように水にぬらさないようにしよーく水を切ってからゴミに出したいです。他にも、燃えるごみをへらすために、マイはしを持ち歩くや、プラスチックごみを減らすためにレジ袋を断るなど少し考えればいろいろなことがあります。ごみをへらすためには身近なことからコツコツはじめて、減らさなければなりません。そのためにも簡単なことからしっかり努力していきたいなと思いました。



4. まとめ・・・家から出るごみの量がいかに多いかわかりました。

#### ごみが増えるとどうなるか

ごみが増えると焼却場でたくさんの温室効果ガス(二酸化炭素)が出ます。燃やした後の灰やごみの埋めたて地も必要になってきます。

また、地中にごみを埋めるとごみの中に含まれる有毒な物質がしみだし地下水や農作物にも影響を及ぼします。このようにごみが増えると環境に悪いことがたくさんあります。だからごみを減らさなければならないのです。

#### 家での取り組み

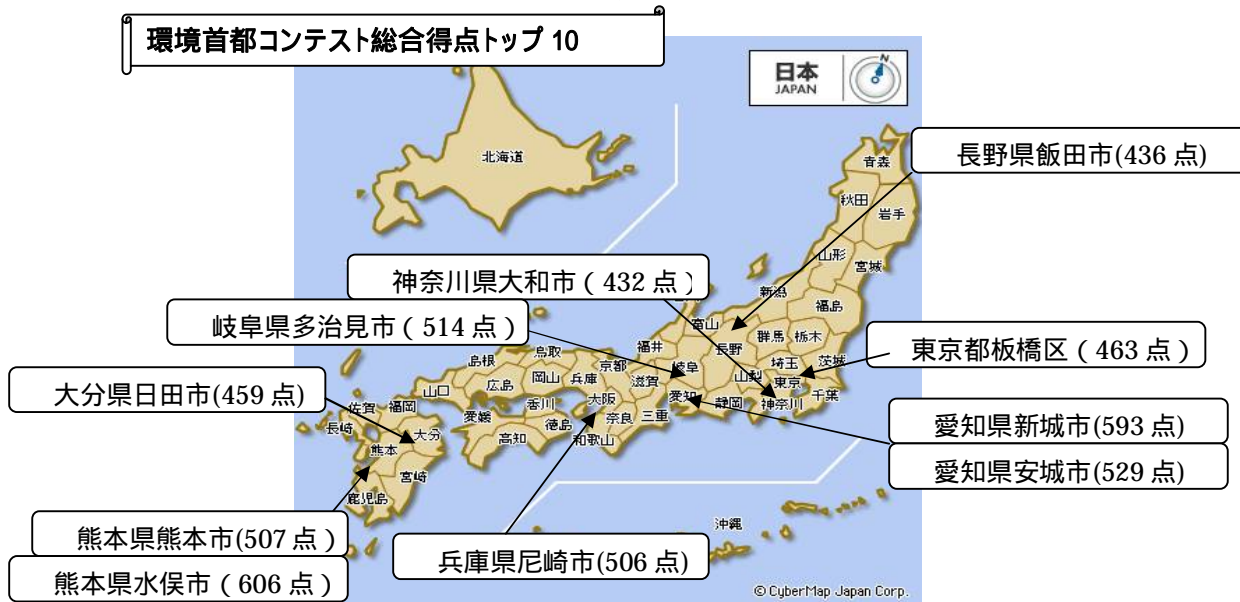
家から出ているごみでリサイクルできるごみは、5種類(新聞紙、紙パック、ペットボトル、ビン、缶)。新聞はきれいにまとめて、ペットボトルは洗ってラベルをきちんとはがして、紙パックも洗ってほして、リサイクルに出しています。また、ごみを出さないように、水筒を持ち歩いたり、レジ袋を断ったりしています。

#### 家でやってみたい取り組み

生ごみが水を多く含んでいて重いことがわかったので、家庭科で作った広告を使った生ごみ入れに入れてできるだけぬらさないようにしてごみに出したいです。また、「キッズ ISO14000」というプログラムがあったので参加してみたいです。このプログラムは、こどもたちが、環境を守るために自分の家でできる省エネなどの作戦を実践する試みです。がんばると認定証がもらえるそうです。

#### 地域での取り組み

環境について調べている時、新聞で「環境首都コンテスト」という取り組みを発見しました。市や区でも、環境について取り組んでいるのを知りました。2005年に、環境首都コンテストに参加して日本1位になったのは、熊本県の水俣市でした。水俣市が環境に取り組むきっかけとなったのは、水俣病という、工場廃水に含まれた水銀で八代海が汚され、その海で取れた魚を食べた人たちが水銀中毒になり、たくさんの方が亡くなったことからです。だから「環境破壊には、手をかさないぞ」という決意で、1992年環境モデル都市づくり宣言をしてさまざまな取り組みをしています。酒屋さんで、1本5円で引き取ってくれる再利用焼酎五合ビンの開発、水銀で汚れた八代海に珊瑚が戻ってきて住める場所を広める、廃線になった旧国鉄の山野線の後を買い取り、歩行者・自転車専用道路にする、などたくさんの環境についての取り組みをしています。川口市もこのコンテストに参加して、環境にやさしい市になれたらいいなと思いました。



環境市民HPから <http://www.kankyoshimin.org/jp/mission/ecocity/ecocap/index.html>

### 感想

こんなに、いろいろなところで環境問題に取り組んでいることがわかってすごいなと思いました。自分でも、少し工夫やがまんをすれば、CO<sub>2</sub>やごみの量がすごく減らせることがわかってびっくりしました。これからも気をつけて、なるべくCO<sub>2</sub>やごみの量を減らしたいです。

伊東先生より

環境問題に関心を持って、たくさんの学校でいろいろな取り組みをしていることがわかり、とても励まされました。環境を守るには、時間的・精神的ゆとりと忍耐がいりますが、子どもも大人も、自分の身近な環境に関心を持ち、ひとりひとりができることから始めればよいと思いました。そのために私たちは学校で子どもたちとともに一歩ずつ学んでいきたいと思います。

### 4. 青木中学校 2年1名 「食べ物」 神崎 翔 / 門間先生

「残さずに食べなさい。」だれもが一度ならずいわれたことのある言葉だと思います。おそらくこの言葉には食べ物を粗末にしてはいけないとか、食べ残してはもったいないといった気持ちが込められているのだと思います。もちろん食べ物を粗末にすることはよくないし、食べ残すことはもったいないと思えることも大事です。でも、本当に残さず食べることは正しいのでしょうか。

わたしはそうは思いません。なぜなら、われわれ食べる側だけに問題があり、作る側には何の問題もないように聞こえるからです。

そもそも、食べ物を残すということは、おなががいっぱいだからです。それを無理して食べたら後が大変です。だから私は、残さず食べるのではなく、残らないように作るようにすればいいと思います。食べものだって、皆においしいとも思われず、無理にお腹に押し込まれるよりも、適度な量をおいしく食べてもらったほうが実際に幸せなはず。食べる人に合わせて作れば残飯も少なくなるはず。



そして、さらに調理する際に使われる電気、ガスのエネルギーを節約できるし、残飯を焼却するのに使用



するエネルギーも節約できるでしょう。CO<sub>2</sub>も減らせて正に一石二鳥です。

いま、地球環境はだんだんと悪い方向に進んでいます。自然破壊やCO<sub>2</sub>排出による温暖化、それに伴った海面上昇などです。いつかは誰かが何とかしてくれるだろうという考えは、ただの責任逃れのいい訳にほかなりません。いまこそ、努力が必要なのです。千里の道も一歩から、たとえ小さなことでもそれは将来の地球にとって大きなプラスになるのです。だから頑張ろう！未来に手渡すバトンが、今を生きるわれわれのためた大きなつげや責任逃れの言い訳ではなく、夢と希望にするために！

## 5.飯塚小学校 5年2名 「マイバックを持って買い物に」「キッズISOの基礎から初級編へ」

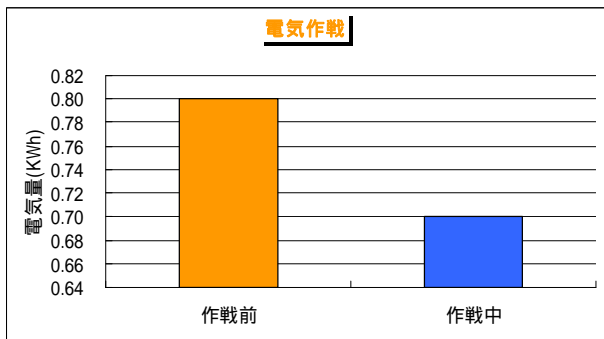
柳 周賢・鈴木しおり / 佐々木礼子先生

### 「キッズISOの基礎から初級編へ」鈴木しおり

私はキッズISOをやってみて、一週間分の記録をまとめてみました。

#### 環境マネジメントデータ分析表

##### 家庭でのあなたの電気作戦



作戦前：0.80 KWh

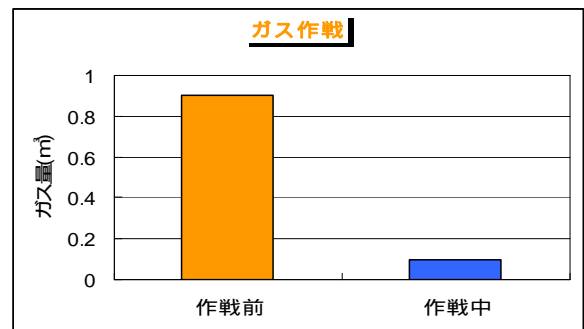
作戦中：0.70KWh

作戦前と比べて0.10減っています。

これは家族全体で年間通して実施すると146KWhになります。

これは重油37リットルに相当します。

##### 家庭でのあなたのガス作戦



作戦前：0.9立方メートル

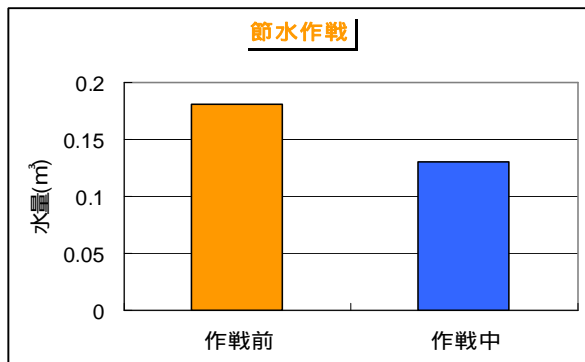
作戦中：0.1立方メートル

作戦前と比べて0.20立方メートル減っています。

これは家族で1年間にすると292立方メートルになります。これをシャワーの時間にすると

219時間になります。

##### 家庭でのあなたの節水作戦



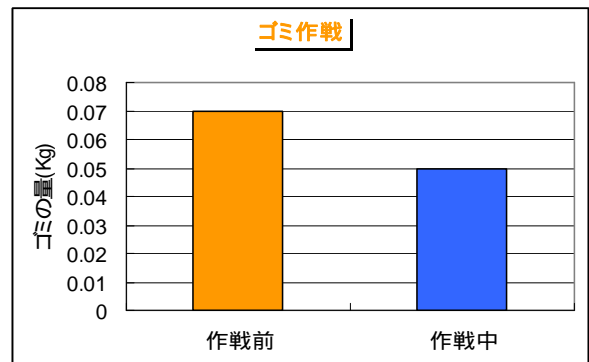
作戦前：0.18立方メートル

作戦中：0.13立方メートル

作戦前と比べて0.05立方メートル減っています。

これは家族で1年間にすると73立方メートルになります。これを風呂にすると367杯分になります。

##### 家庭でのあなたのゴミ作戦



作戦前：0.07Kg

作戦中：0.05Kg

作戦前と比べて0.02Kg減りました。

これは家族で1年間にすると29Kgになります。これを処理するための税金は1,314円になります。

## 感想

電気・ガス・水・ゴミの全部が作戦前より作戦中のほうが減っていたので、しっかりエコライフができていたと思います。

今は地球温暖化が進行しているので、エコライフを続けていき、地球温暖化防止をしていきたいです。

### 「マイバックを持って買い物に」 柳 周賢

- ・マイバック化しよう。

私は、この前買いものに出かけた時、あることに気がつきました。みんな買ったものをビニール袋に入れていたのです。私の家族は、ビニール袋を燃やすと有害ガスが出るのでマイバックを利用し、なるべくビニール袋は断っています。

それに、韓国では、薬局、スーパーなど、すべての売店でビニール袋を売ることになっています。もし、無料であげてしまった場合、罰金を払います。ですから、もうマイバックを持って買いものへ行くということは、生活の一部になっています。

学校で環境の事を勉強する時、「あー、マイバックって環境にやさしいことなんだ。」と思いました。マイバックは何回も何回も使えるし、もしひもが取れてしまった時は、ビニール袋みたいにゴミにはなりません。また修理して使えばいいのです。なので、ぜひ日本でもマイバック化していくといいですね。日本と韓国だけじゃなく、世界中の国々で見習って、地球をきれいにしていきたいです。

- ・デポジットってなあに。

デポジットとは、ビールやサイダーのピンを集めて持って行くとお金に換えてくれる、環境にも財布にもやさしい活動です。そういうピンを洗ってまた使えるので、新しいピンを作らないから、その分原料を使わずにすみます。韓国もデポジットに取り組んでいます。これからもっと積極的にやって行きたいです。その他の国々も積極的に取り組んでほしいですね。

- ・キッズISOに取り組もう。

私はキッズISOの入門編に取り組みましたが、あまり積極的に取り組んでいなかったので、初級編で頑張ることにしました。

さすが初級編。本当にたいへんでしたが、すごく頑張れたので結果が楽しみです。キッズISOの取り組みは、とてもいい考えだと思いました。まだ韓国では取り組んでいないので、取り組んでほしいです。中級編にも取り組んでみたいです。

日本も韓国もその他の国々も、お互いにマイバックやキッズISOなどを教え合い、いっしょに取り組んでいきたいです。



### 佐々木礼子先生より

会場には熱気がいっぱいでした。子どもを送ってきたお父さんが、会場の熱気を家族にも感じてほしいと、迎えに帰ったほどでした。市長さんのご挨拶も力になりました。

参加の子どもたちは、自らも発表し、また、他の取り組みの発表を聞くという二つの役を担っています。自分の具体的な取り組みがあるので、他の取り組みはとても分かりやすいし、ヒントにも励みにもなったと思います。

頼もしい大学生・高校生、中学校での取り組みは、エコライフDAYの取り組みが続いてきていることを実感させてくれました。マイバック・マイ箸・電気をこまめに消す・牛乳パックのリサイクルなど、ちょっと面倒だけれども、友達やクラスといっしょなら取り組みそうなことがたくさんありました。

川口市民環境会議の皆さんを始め、リードしてくださる先生方やボランティアの皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。

(キッズ ISO14000 プログラムも入門編の取り組みを発表した二人を含め、数名が初級編の国際認定書をいただけることになりました。)

## 6.芝西小学校 4年1組8名 「かんきょう係の活動について」

環境 Junior ・近藤瑠香ほか / 田牧先生

### 1.作った理由

7月6日(木)に、総合的な学習でサポートステーションへ行きました。

そこで、環境について話し合いました。また、うらが白い紙でメモ帳が作られていて、地球にやさしいことをしているなあと思い、4年1組に「かんきょう係」を作ることになりました。

- 2.活動 ポスターを書いてかんきょう係のことを知ってもらう。
- ・「使える紙はかごに入れてください」とポスターをつくる。
  - ・計算用紙つくり
  - ・うら紙を利用して、クラスへサッカー大会のチームを知らせた。



### 3.これから

- ・公害、エネルギーなど、オゾン層をはかいしないなど、地球がいつまでも青く丸いきれいな星でいてほしい。そのために色々人類は考えなくてはならないと僕は思います。  
丸山大樹
- ・これからはごみをへらして電気もむだ使いしないで、むだのない地球にしたいと思いました。  
真壁侑奈
- ・僕は紙を大切に使うこと、資源にもよいし環境にもよいと思いました。紙のほかにも水なども大切にしようと思いました。  
近藤聡太
- ・手を洗うときやはみがきをする時は、いっぱい水を出さず少し出して水を使うようにする。佐々木麻衣
- ・みんなが電気をむだせず、紙もむだにせず、もったいない水を少なくして、地球にやさしい環境でいたいと思いました。近藤瑠香
- ・これからは、電気や水、紙を大切にしたいと思いました。梶 彩夏
- ・僕は森が広がると良いと思います。理由は森がふえると虫や鳥などが増えるので、森がいっぱいあるといいなと思いました。加藤拓也
- ・これからは、紙のむだ使いなどはやめようと思います。  
そして地球にやさしいことをしていこうと思います。富田姫乃



### 7.大東文化大学第一高等学校 1年 「環境フォーラム」に参加して 平林 豊

私は、昨年この環境フォーラムに参加させて頂きました。何故、フォーラムに参加したかという、中学校で配布された環境エコライフDAYのチェックシートに、当時、給食委員長をやっていた気になっていた給食の残飯について思っていることを書きました。それを見た川口市市民環境会議の方から、声をかけていただき、フォーラムで発表することになりました。

実際に、給食センターへ行って取材をしたり、市内の学校から戻されてくる沢山の残飯を目のあたりにし、なんともったいないのだろう、と強く感じました。それをパソコンで編集し、発表するまでの準備は大変でしたが、とても良い勉強になりました。そして、他の人の発表を聞いたり(牧野さんたちの)川口市市民環境会議の人たちの活動を知ったりして、環境について深く考えるキッカケになったのです。

その後、高校選択で自分の進路を決めていく上で、将来、環境について勉強してみたいと思うようになりました。そんな中、大東文化大学に環境創造学部というのがあるということを知り、大学進学を考えて、今はその附属の高校に通っています。

環境創造学部では、ごみ問題や公害など、住みやすい街を考える都市環境、既に多くの企業が関わっている資源再利用を考えたコンビニエンス、廃棄物処理場、再生素材を考える地球環境などを学びます。

これからの時代、環境を考えていくことはとても重要で、一人一人が自分のできることを実行し続けていく事が大切だと思います。自分にとって環境フォーラムへの参加は、そういった意味を高めてくれる貴重な体験でした。有難うございました。  
2006年10月21日

当日参加でしていただけなかったので、文章をいただき代読させていただきました。

### 8.岸川中学校 2年2名 環境に優しい生活 「授業から学んだこと」

前田翔太郎・菅家和也 / 山田先生

私たちが、環境教育を学んでいく中で、エコライフDAYへ参加し、どのような部分を生活に生かせるようになったかを発表します。

中学校での学習……どのような授業でどのような学習をしているのか紹介します。

- ・国語では、「イースター島の森林伐採」を題材として教科書に取り上げられています。
  - ・社会では、「公害問題や公害病」について学習をします。
  - ・理科では、「化石燃料や酸性雨」等について学習をします。
  - ・技術・家庭科では、「エネルギー問題、環境問題、ゴミ処理の問題、洗剤の使い方」など多くの内容を学習します。特に、環境問題はエコライフに最も関係の深い領域です。地球温暖化や3つのRについても学習しました。
  - ・英語では、「ゴミ捨て問題」が題材として教科書に取り上げられています。
- また、科学部では、「芝川の水質調査」を行い、身近な環境調査をして県の発表会に選出されるなどがんばっています





「3つのR」について簡単に説明します。

リサイクル：資源に戻して、再び製品とすることです。

代表的なものとして新聞紙やペットボトルがあります。

リユース：使い終わった製品を再びきれいにして使うことをいいます。

代表的なものとして牛乳瓶、ビール瓶、中古車などがあります。

リデュース：ゴミを減らすことをいいます。

代表的な方法としてゴミの分別処理や過剰包装をしない、レジ袋をもらわないことがあります。

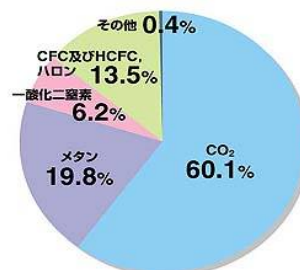
### 技術家庭科での学習

技術家庭科の学習で地球温暖化について学習した中では、グラフのように温暖化の原因物質としては、二酸化炭素がもっとも大きな原因であることがわかりました。

環境問題・・・地球温暖化原因物質

- ・二酸化炭素・・・60.1%
- ・メタンガス・・・19.8%
- ・一酸化二窒素・・・6.2%
- ・その他・・・13.9%

バーチャルグローブより



省エネルギー・・・二酸化炭素を減らすには様々な省エネルギーへの取り組みが大切です。

電気の節約

- ・エアコンの設定温度を調節する
- ・プラグを抜く
- ・主電源を切る

水の節約

- ・水道やシャワーの使い方
- ・風呂の水を洗濯に使う

ガスの節約

- ・風呂にまともではいる

その他

- ・レジ袋をもらわない
- ・近いところの買い物は、徒歩か自転車
- ・食べ物を大切に
- ・紙の無駄遣いをしない
- ・エコ商品を使う 再生紙のノートなど

これらの取り組みはなぜ二酸化炭素を減らすかといえば、水をきれいにする、ガスを使えるように加工する、ものを作るにはすべて今電気の力が必要です。電気を作るために石油などエネルギーを燃やすため二酸化炭素を増やしてしまうのです。

生活に取り入れたこと・・・エコライフDAY以後も取り組んでいる事

エコライフDAYへの参加の後に今でも心がけていることを、2年生を対象にアンケート調査してみました。

ベスト5を紹介します。調査人数は145名です。

- 1位 部屋を出るとき明かりを消す・・・82%
- 2位 冷蔵庫の扉は、すぐ閉める・・・80%
- 3位 近くに行く時は、車に乗らない・・・75%
- 4位 ゴミ出しルールを守る・・・71%
- 5位 ご飯やおかずを残さず食べる・・・66%

エコライフDAYの内容

電気の節約：冷蔵庫の扉の開け閉めを少なくした。  
テレビを見る時間を少なくした  
必要のない明かりを消した。

水の節約：水道やシャワーをこまめに止めた。

その他：買い物袋を持って買い物をした。  
近くに行く時は徒歩か自転車にした。

### 感想

川口市内でとても多くの方がエコライフDAYに参加し、エコライフへの関心が高いことがわかった。みんなで取り組むと大きなエネルギーの節約になるとわかった。これからもできるだけ意識を持ってエネルギーを節約し、温暖化を防ぎたい。

山田清先生より

環境問題に対する関心は最近非常に高いものがあります。今回の発表の中でも継続した取り組みが目立ち、その内容のレベルが高いことに驚かされました。本校でもこれを機会として、いままで以上に授業等で環境問題について積極的、継続的な指導を展開したいと思います。

### 9.仲町中学校 2年1名 「限りある資源について考えたこと」 伊藤香理 / 金森教頭先生

私たちがふだん使っている電気やガスなどは、エネルギー資源という石油や石炭、天然ガス、ウランなどを使って作られています。私たちは、生活の中で電気やガスなどを好きなときに好きなだけ使えるという恵まれた環境にいます。今まで、毎日使っているたくさんの資源について考えたことがありませんでした。ですが、中学校の技術の授業の時に、石油・天然ガスがこのままで行くとあと数十年後にはなくなってしまうという現実を知りました。そのときにとても驚き怖くなりました。そして、それと同時に、私には今何ができるのかを

考えました。自分の生活を振り返ってみると、ここはこうし方がもっといいという場面がいくつもありました。例えば、エアコンなどの冷暖房機を、自分の服装を調節してなるべく使わないようにすると、年間約1800円の節約になります。いつも、ついつい点けばなしのテレビも、こまめに消すことで、年間約900円の節約できます。冷蔵庫も、物を詰め込み過ぎないようにし、壁から適切な間隔を開けるだけで年間約2700円のも節約ができます。このように、資源をむだにしないということから、周りに目を向けると、なんとお金の節約もできます。



そして、私が思ったのは、前に学校のみんで取り組んだエコライフDAYです。エコライフDAYの内容を毎日心がけることで、もっとエネルギー資源を大切に使うことができると思います。資源を大切にしていくということは、とても重要なことですが、自分ひとりの力ではあまり効果がありません。だから、いち早く自分が資源の大切さに気づき、それを家族や友達に伝えていきたいと思っています。それが学校や地域に広まっていけば、必ず一人ひとりが自分たちの使う資源について関心を持ってくれると思います。そして、それは限りある資源を使う私たち人間にとってあたりまえのことなのではないかと、私は強く思います。

金森卓教頭先生より

過日の「環境フォーラム」への参加、大変勉強になりました。このようなすばらしい経験が出来る場を企画提供していただきありがとうございます。本校では、全校集会の場で報告会を開きました。資源、環境の問題を多くの生徒に体験させてみたいと思いました。次回は事前の学習(準備)をして出たいと思いますのでその辺の情報(取り組み例)を前もっていただけると助かります。ありがとうございました。

#### 10.本町小学校 5年1名「ぼくにもできるリサイクル」 清水 誠勝 / 峰岸先生

僕は社会科に興味があるので地球環境問題について良く知っています。最近では経済が発達して、昔とは違う便利な製品がどんどん作られています。

でも、長所は良くて短所はひどいです。例えば、豆腐を買いに行く時、昔はなべを持って豆腐を買ってきたそうです。今は持ち運びに便利のようにプラスチックの容器に入って売られています。

プラスチックは石油からできているので資源の無駄使いになります。しかもプラスチックを作るには、たくさんの電気が必要です。日本は、ほとんどが石油を燃やした時の熱で発電するので、たくさんの石油を使います。このとき出る二酸化炭素は地球温暖化の原因の1つです。



車だってそうです。車の長所はどこにでも簡単に移動ができることです、しかし短所はたくさんあります。車の材料には鉄やタイヤに使うゴムがあります。これらをつくるためには、大量の資源を使います。さらに車を走らせる時には二酸化炭素をたくさん出します。

つまり現代の人は、便利さを優先して環境・資源に対する意識が甘くなっていると思います。

例えば、僕の身近な所でこんな事がありました。・・・僕の友達には面倒くさいからといってまだ使えるノートを捨てたり、鉛筆もポロイからなんていって捨てていました。

鉛筆は70年もかけてつくられているのに、ひどすぎるなあと思いました。僕ならば、ノートの余りは計算を書いたり、メモを書いたりするときに使います。鉛筆は、キャップなどをつけてぎりぎりまで使います。

このように、ちょっとした心がけでできるエコライフはたくさんあります。使っていない部屋の電気は消す、TVは見たいものだけを選んで見て、ボリュームをさげる、冷蔵庫のとびらはすぐ閉めるなどがあると思います。また、きちんとごみを分別することもエコライフにつながります。すべてを燃えるごみにしてしまうと、リサイクルできる物まで灰になってしまいます。面倒くさいからと言って、分別しないで物を捨てるということは自分がよければ、周りはどうでも良いという甘い考えです。こんな考え方は決して良いわけありません。

ものを1つ1つ大事にすることで地球は守られていくのです。安心して住める地球にするために、みんなでちょっとしたことでもエコライフしていきましょう。

峰岸慎先生より

今回の環境フォーラムが、私自身初めての参加となりました。参加する前の段階では、子どもと同じように、みなさんがどのような発表をするのか全く分からずに不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、フォーラムが進むにつれて発表の仕方が問題なのではなく、今の時点で環境の為にできることを、その個人のレベルで行えばいいのだと分かりました。子どもたちも自分の実践を発表し終えた後は、興味深く他の発表に聞き入っていた姿が印象的でした。私自身、全員の発表を聞き終えた時には、環境について大いに興味を持つことができ、また実際に実践してみようという意欲に満ちていました。環境についてあまり関心のなかった私にとって大変有意義な集いとなりました。

実際に参加すれば、誰でも環境についての意識が高まる環境フォーラムにできるだけ多くの方に参加してもらいたい、フォーラムが終わった時の正直な感想です。

## 11.朝日東小学校 5.6年7名 「みんなでパックリサイクル」牛乳パックリサイクルへの取り組み

井上凧、江下万理、高島夏実、菱沼夏美、藤巻遥香、中村美沙希/松田教頭先生

- ・私たちは、いま全校で給食牛乳パックのリサイクルに取り組んでいます。

### はじめたきっかけ

- ・私は、昨年この環境フォーラムでの環境についての発表の中で、他の学校で牛乳パックのリサイクルをしていることを知り、私たちの学校ではできないだろうかと思いました。そこで私は、学校の児童会に「牛乳パックのリサイクルをしている学校があるんだけど、この学校でもできればやってみたいんだけど。」と提案してみました。担当の先生も、前の学校でやっていたらしく「いいことだからやってみてもいいんじゃないの」といってくださいました。児童会の計画委員のみんなも賛成してくれたので、代表委員会で提案し各クラスで話し合ってもらうことになりました。

### 全クラスが賛成

- ・私たちのクラスでは、反対する人もいないし、すぐに牛乳パックのリサイクルを始めることに決めました。私も「いいことだからやりたいな。」と思いました。
- ・私は、始めて牛乳パックのリサイクルをしようといわれたときは、面倒くさいと思いました。だから反対しました。でも、やりたいという人が多かったのでやることになってしまいました。
- ・このように、全クラスで話し合ってもらった結果、全クラスでやるうということになり、昨年の3学期から、みんなで牛乳パックをリサイクルしています。



### パックリサイクル開始

- ・給食で飲んだ牛乳パックは、まず、頭の部分を押し開き、そのまま下に向かって開きます。開いた牛乳パックは、水で洗ってかごに集めます。集めた牛乳パックは、かごで乾かしてから、給食当番の人が食器などいっしょに給食室にもって行きます。大きな袋に、全クラスの開いた乾いた牛乳パックを集め、業者の人に渡します。
- ・リサイクルを初めてやった時、「むずかしくて大変だなあ」と思いました。しばらくして、みんな面倒くさくなりやらなくなってしまいました。ある日、牛乳パックをそのまま捨てておこなれている子を見て、私もやらなくちゃいけないなと思い、その日からまた牛乳パックを開くことを始めました。今はぜんぜん失敗しないし、毎日牛乳パックを開いています。それが何かの役に立っているんだなと思うからです。



- ・私は、初めて牛乳パックをつぶしたときに「えーなんで牛乳パックをつぶさないといけないの」と思いました。最初は牛乳パックをつぶすのはとても面倒くさかったけど、いま牛乳パックをつぶしてもあまり面倒くさくなくなりました。
- ・私は、反対していましたが、実際やってみると楽しかったです。なぜかという、牛乳パックを破くのが楽しかったからです。いつの間にか、面倒くさがらなくて楽しくやっていました。でも、わたしは、その牛乳パックを破ったのをリサイクルに出してどうするのだろうかと思いました。きっと、ただの紙になるんだろうなあと思いました。
- ・みんなが開いたパックは、牛乳を持ってきてくれる業者の人が持っていってくれて、トイレトペーパーに代えてもらいます。約100日間で、96ロールのトイレトペーパーに変わって届きました。



去年の1年生には、去年の6年生が教えてあげ、今年の2年生は上手に開いています。今年入学してきた1年生も、毎日パックを開いています。最初は上手に開けなかった1年生も、最近は上手にひとりで開いています。

- ・私は、牛乳パックがトイレトペーパーになるとは思いませんでした。もっとトイレトペーパーがいっぱいできるように、これからも牛乳パックのリサイクルを続けたいなあと思いました。学校のみんなにも、牛乳パックのリサイクルを続けてもらいたいなあと思っています。

- ・私は、牛乳パックをリサイクルできるなんて思いもしませんでした。あの牛乳パックが、トイレトペーパーにかわってしまうなんてすごいと思いました。牛乳パックをいつも開いています。



けれども、ゴミ箱に捨ててしまう人もいます。牛乳パックを一本開くだけなのに、お金などもかからないのになあと思います。せっかく牛乳パックをリサイクルすることができるのですから、やってほしいと思います。私たちの今の環境のことを



考えるとごみだらけです。

この牛乳パックリサイクルをすると、少しごみが減ります。この牛乳パックリサイクルは、小さなことだけど、この小さなことを大きなことにして、いろんなところに広めたいと思います。

- ・高学年の人に、家でも牛乳パックを開いているか聞いてみました。その結果、約3分の1の人が家でも開いていることがわかりました。わたしは、もっとたくさんの方が、家でも牛乳パックを開いてもらいたいと思います。
- ・これからも牛乳パックリサイクルを続けたいと思います。

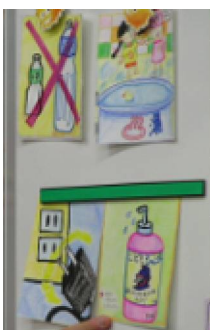
松田 裕之 教頭先生より

今年初めて環境フォーラムに参加させていただきました。

本校の発表は、牛乳パックリサイクルについてでしたが、取り組みのきっかけは、昨年のフォーラムで様々な取り組みを知ったことからでした。

今年の発表も、エコバックや落ち葉の活用など身近なものばかり。環境を守ることは、特別なことではなく、年齢にかかわらず、人が身近な生活を見直し継続して取り組むことだと改めて考えさせられました。このフォーラムは、本校のように環境を守る活動の輪を広げるよいきっかけになると感じました。

## 12. 差間小学校 6年2名 「環境かるた」「廃物利用の置物」 小高 萌・凶齋はるか 「環境かるた」 小高 萌



夏休みの宿題で、環境かるたを作りました。このかるたを作った理由は、みんなに遊びながら、楽しく二酸化炭素のさくげん量を知ってもらいたくて、チェックシートの項目をもとに環境かるたを作りました。

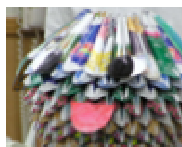
3年生の時に、チェックシートを意識し始めて、4年生になって、第1回目のフォーラムで、家から出るごみの分別をして、家族によってごみの量が違うことを発表しました。第2回目のフォーラムで、牛乳パックをトイレトペーパーにリサイクルできるように、牛乳パックの開き方を絵に書いて発表し、学校でも牛乳パックを集めて実践しています。

今年の第3回目のフォーラムで、環境かるたを作り、今は学校でもみんなとこのかるたで遊び、温暖化ぼうしに役立てられるように頑張っています。

これをする事によって、二酸化炭素の減らし方も分かってきました。フォーラムに来ている皆さんも、エコかるたを作ってみてはいかがですか。大勢ですることによって二酸化炭素の減らし方をみんなに知ってもらい、地球を大切にしましょう。

### 「廃物利用の置物」 凶齋はるか

私が、これを作ったきっかけは、ポスターがたくさんあまっていて、それを捨てると、すごく環境に悪いことをしているので、このような置物を作って少しでもごみをへらし、環境にいいことをしたいと思い作ってみました。 折り方



この置物は、私の祖母から教わったもので、ちょうどみかん箱に入っていた紙でこのような置物が作れると聞いたので作りました。それを今度は、いらなくなったポスターを使って作りました。

みなさんもこのような環境にいいことをどんどん見つけてやってみてください。

## 13. 上青木南小学校 5.6年4名 「牛乳パックと古紙回収」「アルミタブとアルミ缶を回収して車椅子に」 上青木南小学校児童会 / 谷崎先生

「牛乳パックと古紙回収」と「アルミタブとアルミ缶を回収して車椅子に」のリサイクル活動について紹介します。

### 「牛乳パックと古紙回収」の取り組み

去年から、川口市内の小学校・中学校で始まったこの取り組みに、4月から仲間入りして活動を開始しま

した。開始する前に準備として、今年3月卒業の6年生が「みんなが、楽しく取り組めるように」と各クラスにかわいい牛の牛乳パック回収箱を作ってくれました。ちゃんと後ろにシッポも付いているんですよ。

クラスの回収箱にためた牛乳パックは、毎月第4木曜日の昼休みに、児童会の計画委員と代表委員が分担して、縦割りの低学年の分まで全部集めています。全校の分を集めると、かなりの量になりびっくりです。そして、第4金曜日の朝に、みんなで協力して運び出します。登校して来た順にお手伝いが増えて、あっという間に終了です。

### 「アルミタブ・アルミ缶を回収して車椅子に」の取り組み

この取り組みは、今6年生の三井君が、5年生の時のわかたけの時間に、「私のまちの環境白書」で調べて「アルミタブ・プルトップを集めると車椅子になる」ことを知り、クラス・全校に呼びかけて始めました。そして、今年から児童会の取り組みとして引きつぎ、「どんな小さなアルミ缶でも捨てずにリサイクルし、地球環境を守り、福祉に役立てよう！」と活動し、車椅子に交換してくれるNPO『環公害防止連絡協議会』に集めたものを送って、アルミ貯金を始めました。

1学期の終わりには、「リサイクルできる量をもっとふやそう」と話し合い、朝会で全校に協力を呼びかけ、家で飲んだジュースや牛乳のパック、プルタブ、そしてアルミ缶そのものの回収にも取り組んでいます。

昇降口に、川口市民環境会議の方からいただいた牛乳パック回収箱、プルトップ・アルミ缶の回収箱が置いてあり、朝、登校時に持ってきた牛乳パックや缶を入れてもらっています。月曜日や火曜日は、特に多く、見る見るうちに入れ物がいっぱいになります。お母さん達からも「牛乳パックや缶を学校に持ってもらうと助かる」と好評です。

アルミ缶は、掃除の時間に6年生が交代でつぶして袋にため、まとまったらダンボール箱につめて送ります。10月16日に、今まで集まった分全部を送りました。ちょっと手間が掛かりますが、みんなで協力して頑張っています。

また、昇降口のわきに、毎年総合の授業でお世話になっている相馬さんが大きく広げてくれた「環境ニュース」のコーナーがあります。エコライフDAYに関係するものはもちろん、学校に送られてくる環境ニュースや、相馬さんが参加した環境を守る活動などを、みんなに紹介しています。

最後にまとめとして、わたし達はエコライフDAYに参加して、「ちょっとした工夫や心がけで、CO<sub>2</sub>を減らせる」ということを学びました。これからも学校や地域・家でできることを見つけ、実行できることを増やしていきたいです。



谷崎英子先生より

「環境フォーラム」に参加させていただきありがとうございました。「私のエコライフ」の発表の内容もいろいろな視点からのものになり、私達も、子ども達もとても勉強になったと共に、とても楽しかったです。午後のワークショップも意欲的な取り組みで、そのまま4年生の「くらし探検隊」の授業として実践できる内容でした。

今回、発表させていただいた上南小の取り組みは、すべて、川口市民環境会議の皆さんの5年・4年への出前授業がきっかけですし、エコライフDAYへの取り組みを通して、「CO<sub>2</sub>を減らす」ことが自分達の生活の中で実践できる方法を、子ども達に具体的に教えていただき、皆さんの活動が大きな推進力になっていることに、心から感謝申し上げます。

「教室を留守にする時は必ず電気を消す」「図工や習字の後始末で自然に行われる分別」「地域の公園でのクリーン活動後のごみの分別」等、学校でもエコライフの実践が少しずつですが定着してきているのも、皆さんの授業実践・活動の取り組みがあってこそです。

アルミ缶の回収については、草加市のように行政の方で取り組んでいただけると効率的で良いと思います。上南小では、車椅子1台まではと、今の方法で取り組んでいきたいと思っています。

「環境まもりたい」意識の向上を

上青木南小学校 高木くみ子校長先生

環境フォーラムに参加して、川口市民環境会議の皆さんが着実に歩いて来られたその努力が、小中学生をはじめ高校生や、大学生の生き方にまで影響をおよぼし、着実に成果をあげていることを実感しました。

学校では水や電気の節約、古紙や牛乳パック、プルトップやアルミ缶の回収に取り組んでいます。

今後も地道な取り組みを継続しながら、日常生活を見直す視点を育てていきたいと考えております。とりわけ給食の残菜は食育、健康問題はもちろん、ごみ処理の問題からも考えたい事柄の1つです。

## 14. 芝浦工業大学 4年1名「エコライフDAYに参加して」 中村裕貴

### ボランティアをして感じたこと

ボランティアは、参加者のチェックシートに関して二酸化炭素削減量の集計、コメントの仕分けなどの作業をします。今年、エコライフ DAYには約50,000人が参加しましたので、その作業量はとても多いです。しかし、「集計大会」でのそろばん教室の生徒など、ボランティアの力を感じました。また、チェックシートを見ると、コメントを記入してくれる人が多いことに驚き、参加者の環境への意識が高いと思いました。

### チェックシートのコメント欄について

チェックシートのコメントにおける傾向に、興味を持ったので分析をしてみました。コメント欄の中で、出現頻度の高い単語をキーワードとして選び、どんなキーワードが多いのが学年ごとに見てみました。すると以下のような傾向が見られました。コメントで出現頻度が高いキーワードは、チェックシートの質問項目内の言葉である。高学年になると、グローバルな視点で環境について考えている。「気をつける」、「がんばる」、「続ける」などこれからの行動に関してコメントしている人が多い。



### まとめ

家庭部門での二酸化炭素排出量は、他の部門と比較して大きな上昇を示しています。エコライフDAYをきっかけにライフスタイルを見直し、家庭からの二酸化炭素排出量を削減しましょう。また、環境に関する自主的な取り組みやボランティアに参加することで、様々な体験をしてみましょう。

昨年、発表していただきました山本様よりメッセージをいただきました。

### 環境を守るためのアプローチ「環境フォーラム」

東洋大学大学院国際地域学研究所 博士前期課程2年 山本 弘子

2005年2月16日京都議定書を発行した政府は、この議定書をもとに「チームマイナス6%」運動の一環としてライフスタイルの行動変革を国民に提唱した。しかし、2006年10月17日環境省は、2005年度の二酸化炭素など温室効果ガスの国内排出量について、前年度より0.6%増え過去最多を記録したとする速報値を発表、削減必要量はさらに拡大したのである。京都会議のホスト国である日本は、温室効果ガスを増加させているという状況にある。

過去の歴史として、北九州市では、たくさんの子供たちがぜんそくという病を抱えた。それは工場地帯から出される煙が原因だったという。そうした公害問題に直面した際、最初に立ち上がったのは、地元の母親だった。このように公害問題というリスクを避ける手段を身につけ、環境問題に対しリーダーシップをとるのは、家族の中では母親が担っているといえよう。家庭での環境教育の一役を担っているともいえる。このような公害の歴史を持つ地域においては、現在、環境に関するボランティアが存在し、様々な活動をしているという。ボランティアも環境教育に大変大きな役割を担っているといえる。

本来、行動が伴わないと二酸化炭素削減という実質的な目標はクリアできない。学校で環境問題に対する様々な知識を得るだけに止まらず、それを具体的に行動に結びつけるためには、家族の指導や地域における環境に関するリーダーシップの存在が大変大きいといえる。持続可能な社会の実現のために、出来ることを考え、行動に移すことの志を最優先にして活動しているNPO法人川口市民環境会議の活動が、さらに進展していくことを大いに期待している。

### アトラクション 「環境戦隊エコレンジャー」について

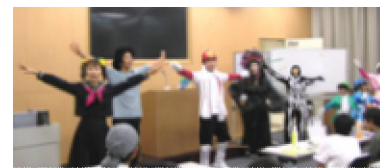
HPより..... <http://tyoppupp.hp.infoseek.co.jp/>

「ちょっぷよってっ！」1999年あつ〜い夏。演劇、ダンス、歌、裏方、そして一発芸をこよなく愛するメンバーで結成された演劇のボランティアサークルです。大がかりな演劇というのではなく、メンバーの発想を大切に、子ども(0才)~年輩の方(いっぱい)まで楽しめる、あっとほーむな演劇づくりをしています。

君は見たか！環境ハカイダーの怖さを！

みんな見たか！守少年の勇気を！！

### 劇団ちょっぷ





## ごみを減らすためには！

### 生ごみ

- ・コンポスターに入れる。
- ・土と混ぜて肥料にする。
- ・分別する。(再生)
- ・乾かしてから出す
- ・生ごみ処理機を使う。
- ・肥料にする。自給自足。
- ・鮭の皮まで食べる。
- ・食べ物を残さない。
- ・魚は骨まで食べる。
- ・エビフライは尻尾も食べる。

5つのグループに分かれて KJ 法で考えてみました。

### 食べもの

- ・食べられる量だけを作る
- ・出されたご飯は残さず食べる。
- ・生ごみをへらそう。
- ・米のとぎ汁を草などにあげる。
- ・できるだけ残さない。
- ・食べきれないサイズで販売する。

### 買い物

- ・良いものを買って長く大切に使う。
- ・丈夫なものを選ぶ。
- ・最後まで大切に使う。
- ・無駄なものは買わない。
- ・ペットボトル入りや缶入りのものはなるべく買わない。
- ・水筒を持ち歩く。
- ・ピンを何度も使う
- ・ペットボトルは、もう一度水を入れて使う。
- ・お茶は自宅で作る。
- ・卵はパックではなくバラで売るようにする。
- ・野菜はビニールに入れない。
- ・スーパーのトレイをなくす。
- ・過剰包装しない。
- ・シャンプーなどは詰め替え用の物を買う。
- ・包装の多い物、お菓子の個別包装の多い物は買わないようにする。

### 使い捨て

- ・紙皿、紙コップは使わない。
- ・一回用品はなるべく使わない。
- ・マイ箸を使う。割り箸をあまり使わない。
- ・紙袋はあまりもらわない。
- ・図工の材料は捨てずに残しておく。
- ・お肉は g 買いにする。
- ・ごみがたくさん出るようなものは買わない。
- ・買うものは、メモをしてから買物に行く。

### 紙

- ・むだ使いしない。
- ・使わなくなった紙の裏側が使えたらメモやおえかきなどに使う。
- ・裏の白い広告、チラシはメモとして使う。
- ・裏が使える紙は集めて使っている。
- ・紙をすぐ捨てない。
- ・トイレトペーパーを短くする。
- ・牛乳パックはリサイクルへ、使わない紙は資源回収へ出す。
- ・習字で使った墨は失敗した紙で吸い取るか、入れ物に吸い取る。
- ・必要のないパンフレットは持ち帰らない。



### リサイクル

- ・無駄に捨てず、リサイクルできるかどうか考える。(リサイクルに出す)
- ・ペットボトルは洗って何回も使う。
- ・いらなくなった紙を学校の古紙回収に出す。

ごみをへらすには **すぐに捨てない。**  
 こわれたものでも直して使える物は修理して使う。



マイバック

- ・買いものに行く時マイバックを持っていく。



リユース

- ・いらなくなったものはフリーマーケットに出す。
- ・フリーマーケットなどへ参加する。
- ・もう着なくなった衣服をぞうきんとして使う。
- ・服が小さくなったら譲る。弟や妹に着てもらおう。
- ・リサイクル、本、服などまだ使える物は人に譲る。
- ・リターナブルピンを使う。
- ・ペットボトルに貯金する。
- ・クツを買ったときの箱を入れ物に使う。
- ・ものを大切に使う。
- ・使えるごみは、工作に使っている。工作でゴミ箱を作る
- ・小さくなった鉛筆は、補助具をつける

車

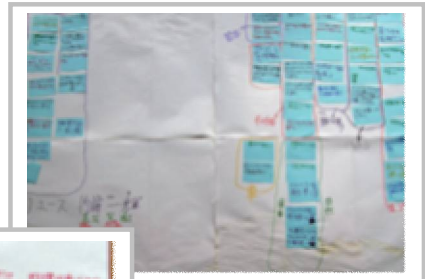
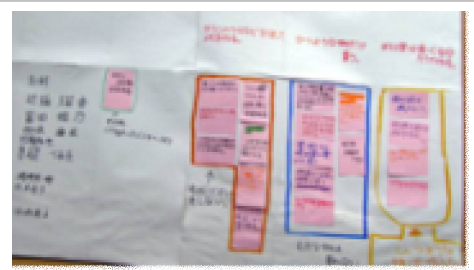
- ・使わない。
- ・近くに行く時は、自転車や徒歩で行く。

水

- ・歯磨きをする時は、コップの中に水を入れる。
- ・風呂の水は、花の水や●や洗濯に使う。

自然

- ・森林は破壊しない。
- ・米のとぎ汁を川に流さない。
- ・道路を畑にしましょう。



## 体験広場 (敬称略)

\*い)の体験は今回できませんでした。

### る) アクリルたわしを編んでみよう 綾瀬川を愛する会 塩田・徳原・杉本

いつものようにアクリルの毛糸でアクリルたわしの実際の作り方をしました。入れ替わって8人くらいが参加してくれました。



**感想:** 川口市の広報が配布され、12月は地球温暖化防止月間であり、この大きなテーマに向かって各家庭でできる小さなことでも実行しようとの提案です。京都議定書に公約された、日本の排出ガス削減は90年度比6%であるが、15年は8.1%増加しています。要するに削減どころか目標に14%も増加しています。このような現状の中で第3回「環境フォーラム」が開催され、私も仲間とともに参加させていただきました。

主催者及び関係者の方々の熱意ある取り組みご指導にまず敬意を表します。小学校8校、中学校3校、高校2校、大学1校と多数の学校が参加され、各学年、年齢に応じた将来への取り組みの指針となる原点を見たようです。また、2部のワークショップでは各人が自由に意見、発想を出し合い一つの結論を出す...という場所であり意義あるものと思います。

さらに第3部体験の広場では、私が注目したのは、自然の木を利用した笛作り、ものづくり、工具の使い方等工夫しながら笛が鳴るようになるまで取り組んでいました。楽しそうでした。

これらのご指導をされた各学校の先生方、関係者の皆さんとともに、子どもたちの心を家庭に持ち帰り、それが全国に伝えられ実行されるよう願っております。 徳原

### は) 電気を作ろう 川口市立幸並中学校教諭 南雲芳広

電気はどのようにして作るのか、発電の方法について勉強してもらいました。1個の豆電球を点けるのに、手回し発電機で軽くまわりましたが、3つになると大変だったと思います。大きな電気を作るには、大きな発電所や発電機が必要になり、大きなエネルギーが必要であることがわかったと思います。だから大切に使い無駄な電気は消してほしいと思います。また、果物を使って電池を作りましたが、電池の原理です。中学や高校で学習すると思います。



**感想:** 時間が少なかった中、たくさんの方が実験や講義に参加してもらいました。身近な「電気」についていろいろ考えてもらい、電池の仕組みや発電の方法、これからの電気の需要見込みなど活発な意見交換ができました。あまりにも身近にありすぎて、それでいてあまりよく知らない「電気」について少しでも興味を持ってもらい、電気を大切にしてくれる人が増えてくれたらいいなあ、と思っています。

### に) グリット・コアって何だろう? 前澤工業(株) 田中・小川

グリット・コアというのは、古紙で作られたボードで、机やイス、壁板にもなる丈夫なボードです。裏が蜂の巣のような形・ハニカム構造になっていて、これを利用して絵を描く体験です。愛知万博でも行われましたが、今回は、アクリル毛糸を18cmに切って、指で丸めて穴に詰めてみました。



**感想:** 会社は地元川口の仲町にあります。地域貢献ということで、このような形で参加させていただきました。これからも地域で役立てていただければと思いますのでよろしくをお願いします。 田中裕樹

### ほ) ものづくり グラウンドワーク川口 西川・萩原・伊原

**内容と感想:** 木笛を作りました。材料の穴のあけてある木の枝に鋸で切れ目を入れ、ナイフで削って刃を作り、駒を差し込んで吹きます。いい音が出るように駒を微妙に調節します。初めて音が出た時の嬉しそうな子供の顔は、いつもながら感動ものです。こちらも嬉しくなります。その後、思い思いに削り、彩色し、研いで、首にかける紐をつけると出来上がりです。私たちの自然のものづくりの基本は創意工夫の達成感です。森の中でやがては朽ちてしまう木の枝が、子どもたちに夢を与えられる形で蘇ったことに私たちも喜びを感じます。 西川昭三





# アンケート

32枚から

## たのしかったところは？

- ・みんなの発表が聞けてたのしかったです。
- ・発表できたこと。
- ・発表はこれで3回目なので、あまり緊張もせず、みんなの前でもしゃべれたこと。
- ・いろいろな話が聞けたし、自分もちゃんと発表できたから。
- ・たくさん人の環境についての発表が聞ける所。
- ・1部の12は、おき物が作れて良い。実際に作りたい。
- ・エコレンジャーで笑えるところがたくさんあった。
- ・第3部(笛)失敗しちゃったところもあったけど最後にはできて嬉しかった。
- ・笛を作ってみたらうまくできました。でも手が痛かったです。たのしかったです。
- ・笛作りがたのしかった。
- ・こんなに簡単に、たわしが作れて楽しかったです。
- ・ただの毛糸がたわしになり、せっけんを使わずエコになるなんてすばらしい！
- ・1部が何となくおもしろかったです。
- ・自分で発表ができました。
- ・いろいろなもので、ちがう物が作れていたところ。
- ・いろんなことができた。
- ・グリット・コアなどでつくった所。
- ・アクリルたわしのあみ。

## お友達の発表を聞いて心が、体が、感じたのはどういうものでしたか？

- ・みんな、環境にいいことをたくさんしていてすごかった。
- ・みんなが、リサイクル・再利用に心がけていること。
- ・リサイクルってステキ！！
- ・もっと、こういう事ができるのだと思いました。
- ・たのしくて良くわかりました。
- ・もっと環境問題について考えなくてはいけない。
- ・いろいろ考えているなと思いました。
- ・みんな、ちゃんとまとめて発表していて「すごいな」と思いました。
- ・自分より歳下の子が、自分より環境の事を考え、すばらしい発表をしていたので、自分の学校でももっとエコを呼びかけたいと思いました。
- ・マイバックの話を聞いて、私もマイバックを持とうかなと体が感じました。
- ・やっぱり、マイバックを持っていったり、いらぬものは買わないということ。
- ・お菓子の箱でも、かるたみたいなのができるからすごいと思いました。
- ・これから、環境を良くするために努力していこうと感じました。
- ・一人で参加した生徒さんが、立派に作文を読み上げていた事に感動しました。
- ・エネルギーを節約し、温暖化を防ぎたいということを深く感じました。
- ・みんなもがんばっているんだな。
- ・牛乳パックの発表
- ・牛乳パックのことが大事なんだとわかった。
- ・とてもうまかった。
- ・もっと環境を良くしないと、と思った。
- ・いろいろな考えが聞けて勉強になりました。
- ・牛乳パックを開く。



次回は参加したいとおもいましたか？ はい24名 いいえ2名(恥ずかしいから・1名) 無回答1名  
理由・・・回答 22名 無回答 5名

- ・反省点も多く、勉強になりました。
- ・笛作りや、人の発表が勉強になったから。
- ・発表したり、体験できたりするから。
- ・また色々な発表が聞きたいから。(2)
- ・自然ものづくりがとても楽しかったから。
- ・すごく勉強にもなるし、楽しかったからです。
- ・楽しいから。(7)
- ・いろいろな話が聞けて勉強になるから。(2)
- ・発表は緊張したけど、午後が楽しかったから。
- ・環境問題について、もっと知りたいから。
- ・おもしろいから、人の意見が聞けるから。
- ・楽しいし、いろいろなことが学べて自信がつく。

・体験広場で、みんなと沢山遊びたいからです。

・発表するのに、環境のいろんなことがわかったけど、聞くのにもわかったことがいっぱいあったから。

## 6. 発表は、おもったようにできましたか？ できた(22名) 今度は(4名) 無回答1名 - 以下分析文 -

・できた。(6)

・緊張しなかった。

・たのしかった。(2)

・2回目だから。

・がんばってできた。

・大成功だと思う。

・思ったようにできた。(3)

・ちょっと緊張したけど楽しかった。

・思ったよりできたので成功です。

・ちょっと失敗したようだけど、ちゃんとできた。

・緊張したけどできた。(3)

・思ったよりできた。

・おおきなこえで発表できてよかった。

・練習した時より上手にできた。

・はっきりいえなくてあまりうまく行かなかった。

・ちょっと間違えちょっとがっかり。

・今回は時間もなく、この会も始めて知ったので、自分の発表が力不足のように感じました。

・緊張していたのでつかえたりしましたが、思ったようにできました。

・作文用紙を見ないでやりたいので、今度は頑張りたいです。

このような発表する会があったら、また参加したいですか？ ・ はい 25名 ・ いいえ 2名  
理由は？ 回答22名 回答無し5名 - 以下分析文 -

・楽しかったから。(5)

・ともだちもできたから。

・ドンドンと、緊張感がなくなるから。

・おもしろいから。

・聞いている方が良い。

・もっと色んなことをしたいから。

・発表するのが好きだから。(3)

・人の話を聞くのも良い。

・環境についてもっと知ってもらいたいから。

・自分の意見がいえるから。

・みんなのやっている事が良いことだから。

・また学校のことを知ってもらえるから。

・これをすることで、人前で話すのが上手くなる。

・今度は自分のやっているエコを堂々と発表したい。

・みんなが、きちんと聞いてくれるので勇気がつきました。

・このお陰で地球が(地球温暖化防止)になるから。

・他の人が、自分達の発表を聞いて、それを実際にやってくれれば、もっと環境に優しくできるから。

今後、このような会があったら、あるいは、どんなことがあるとよいと思いますか 回答14名

\* 意見をたくさん言う会

\* あるといい(3)

\* 環境を良くする体験

\* かるた取りや劇団(2)

\* 紙飛行機飛ばし

\* 次回は違うことで参加したい。

\* 牛乳パックはどうやってトイレトペーパーにしているのか。

\* 日本ではどんな温暖化防止作戦をしているか？

\* 牛乳パックリサイクルしている学校はどの位あるの？

### 感想から

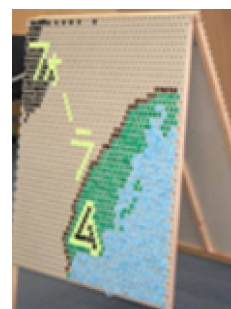
\* この会を全く知らない人たちを招待して活動を知ってもらいたい。

\* 他の人が環境に優しくしてくれると良いと思います。 \* みんなに環境の事がわかってよいと思う。

\* 途中で帰る人がいて残念だった。

\* いろいろな人の考えがわかってよかった。

\* 小・中・高・大学生と様々あって面白かったです。



第3回環境フォーラムは、市長さんにも来ていただき、実績と効果を実感していただき、市民と市役所との協働を讃えて頂きました。今年の発表は、ボランティアに関わったことから始まり、チェックシートの活用や環境行動等、内容も豊富でした。ワークショップ、もの作り体験も、和やかに楽しく過ごすことができました。

ご参加くださいました諸先生方、環境総務課の皆様、ワークショップ担当の皆様、カメラ担当の皆さん、スタッフ一同心から御礼申し上げます。

実行委員長 牧野真知子

# 環境出前授業のご案内



川口市民環境会議では、環境出前授業を実施しています。  
これまで実施した幾つかの授業メニューをご紹介します。  
宜しければぜひお声をかけてください。お待ちしております。  
環境出前授業のお申し込みは・・・電話080-5699-1154（事務局）まで。

## 宇宙船に乗ろう

はじめにワークショップ「30年間宇宙船に乗るとしたら？」を通じて、エネルギーや水・食べ物の循環を考えます。

その後、もしこのまま環境問題に対して何も対策をとらなかった場合の2030年の地球を想像したビデオを見ます。最後にブラジルで開催された地球サミットにて、子ども代表としてスピーチをした12歳の女の子のメッセージをご紹介します。

## 川口の環境と、環境を守る人たち

川口市内の森や川・ごみに関する写真を見ながら、川口の環境問題について学びます。その後、市内で環境問題に取り組む人たちの活動の様子や、川口の環境グループ“環境紙芝居プロジェクト”が製作した、市内の森をテーマに作られた紙芝居「ようこそ森へ」の上演をいたします。

## 地球温暖化と私たちの生活

地球温暖化問題についての説明の後、温暖化防止に関するワークショップをします。（省エネ製品購入ゲーム、もしも石油がなくなったら？など）

## エコ文房具を使おう！

毎日使う文房具。環境に配慮した文房具とはどのようなものかお話しします。

## 温暖化の原因を探せ！学校探検

地球温暖化についての説明の後、学校の中から、「地球温暖化を悪くさせるもの」「地球温暖化を防ぐもの」を見つけられます。最後に、学校の中で出来る環境を守る取組みについて考えます。

## 私たちのごみを減らすには？

実際にごみの分別を体験した後、川口のごみがどのように処理されているのか、ごみの削減につながるお買い物等についてお話しします。

## 環境先進国の取り組み

海外の環境問題への取り組みを写真等をお見せしながらお話しします（イギリスの環境保護アイディアランドなど）。さらに日本の先進的な取り組みもご紹介いたします。

## グループに分かれての授業

ごみ・エネルギー・食べもの・空気・水・川等のグループに分かれて、お話や、実験、体験活動などをします。市内他団体や事業所との協働授業です。

## 牛乳パックのリサイクル

カードを使って紙のリサイクルのしくみを学びます。